



せの喜代の 区議会ノート

区議会での会派は民主党・市民の会です

2010・春
第33号

介護
子育て
環境

<http://senokiyo.sakura.ne.jp/> ホームページは【せの喜代】で検索してください

〒116-0013 荒川区西日暮里2-13-8 TEL/FAX:03-3891-0203 E-mail:senokiyo@yahoo.co.jp

区議会ノートあるいはミニ通信を本会議開催ごとにお配りしています。毎号の購読をご希望の方はぜひご連絡ください。ホームページは随時更新していますので、こちらもぜひ、ご覧ください。

「温かさと優しさに包まれたふるさと荒川」の実現を

税収減の予想のもと、持続可能で将来の財政負担にも堪え得るだけの財政の健全性を確保をめざした予算案に賛成 2010年度予算：817億8千万円（前年比－44.2億円）

荒川区の課題

- ・荒川区民の健康状態が全国平均より悪い▶積極的な生活習慣病対策
- ・介護が必要な高齢者の住まいが困窮▶特養ホーム2か所増設、小規模多機能居宅介護支援低所得者向け支援住宅の整備
- ・ひとり暮らし高齢者が増加▶見守りあいネットワーク・いきいきサロン等地域福祉の推進
- ・障がい者の働く場所が不足▶区役所清掃業務での就労訓練開始、民間企業支援
- ・自殺の増加▶自殺対策始まる～周囲の人の気づきを関係機関につなぐ人材養成、講演会開催～ストレス自己点検システム導入
- ・生涯を通じての障がい者支援が足りない▶入学後もたんぼぼセンターでの相談継続
- ・保育園待機児多数▶一人ひとりへの相談の充実 (11) 保育園待機児が減らない▶定員を160人増やしても49人の待機児が…。待機児0を目指したい。
- ・不登校など問題を抱える子どもの増加▶学校にスクール・ソーシャル・ワーカーの配置
- ・区民の地域での活躍が不足▶（仮称）あらかわ地域大学の設立で区と協働する人材養成

さらに、非常勤職員の待遇改善のさらなる取り組みと区民サービスを担う指定管理者など民間企業などでの働き方に光をあてる荒川区を期待したい。

低所得者向け支援住宅

24時間職員が常駐。生活支援と医療・保健・福祉サービスの調整支援を行う。定員16名。個室・交流スペース・共同浴室・共同トイレ。



昨年3月の無届け老人ホームたまゆらでのお年寄り10人の死亡事故後、私が6月議会の一般質問で取り上げた低所得者向け支援住宅が実現した。5月に開所した「ふるさと町屋荘」は、中古ビルをオーナーが改修し、NPO法人自立支援センターふるさとの会が運営にあたる。家族的な見守りや生活支援をめざすという。この動きをぜひ、広めたい。

今から36年前の
所得税最高税率は 75%

現在 40%

0 10 20 30 40 50 60 70 80

これでは、金持ち優遇もいきすぎ！政府税制調査会専門家委員会での検討に期待したい。

日本は、貧困家庭への支援という所得再配分機能が効果を上げていない国だという。